

(別紙3)

## 地球温暖化対策計画実施状況報告書の概要(公表用)

### 1 事業者の概要

|             |                   |              |                    |
|-------------|-------------------|--------------|--------------------|
| 法人名<br>代表者名 | 有限会社 小山溶接工業       | 市内の<br>主たる住所 | 相模原市中央区淵野辺1丁目21番7号 |
| 主たる事業の内容    | 溶接板金・精密板金加工及び製缶加工 |              |                    |

### 2 計画期間

|                   |
|-------------------|
| 令和 4 年度 ~ 令和 6 年度 |
|-------------------|

### 3 報告対象年度

|         |
|---------|
| 令和 4 年度 |
|---------|

### 4 報告対象年度における温室効果ガスの排出の状況

|                             |                      |                 |                      |
|-----------------------------|----------------------|-----------------|----------------------|
| 基準年度<br>排出量                 | 16 t-CO <sub>2</sub> | 報告対象年度<br>排出量   | 19 t-CO <sub>2</sub> |
| 排出削減量                       | -3 t-CO <sub>2</sub> | 報告対象年度<br>排出削減率 | -18.8 %              |
| (原単位を設定した場合)報告対象年度原単位排出量削減率 |                      |                 | %                    |

### 5 報告対象年度における温室効果ガスの排出の状況に関する説明

本年度は設備更新で本社工場の変圧器2機を最新型への更新、運用改善で空調機の設定温度の変更の取り組みを行い、温室効果ガスの排出削減を図ったが、結果的に主に二つの要因から基準年度の排出量から増加してしまった。一つ目の要因が、設備更新を行ったのが令和5年1月であるため、本年度のデータでは効果が最大限に反映されていないこと。二つ目は基準年度となっている令和3年度はコロナウイルスの影響で工場の稼働(売上高)が大幅に減少していた時期であること。売上高ベースで比較すると令和3年度は令和4年度より3割ほど低く、基準年度排出量の数値のハードルはかなり高いものといえる。以上より、排出量は増加してしまったものの、明確な要因によるものである。排出削減に向けた取り組みは継続して行っており、一定の効果は表れている。次年度以降はさらなる徹底した取り組みを行い排出削減に向けて取り組んでいきたい。

### 6 温室効果ガスの排出の抑制等を図るために実施した措置の内容

| 措置の内容             |
|-------------------|
| 本社工場の変圧器2機を最新型に更新 |
| 空調機の設定温度の変更       |
|                   |
|                   |

### 7 その他地球温暖化対策の推進に寄与する取組等

・自社工場内での、設計改善、製造工程の見直し等により、使用部材の軽量化、工程の簡素化等を図り温室効果ガス削減に努めた。  
・デマンドコントロール(エネルギー管理システム)を2018年5月より運用を開始し、工場内での電気使用量の見える化を実施。客先との打合せから、設計改善・製造工程の見直し等により、使用部材の軽量化や工程の簡素化、配送運搬の効率化等を図り温室効果ガスの削減に努めた。